



A 試合会場レポート

試合番号 303

開催日 2018/05/03

第67回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会 女子 会場：丸善インテックアリーナ

観客数： 4,500	開始時間： 14:00	終了時間： 16:26	試合時間： 02:26	主審： 北村 友香	副審： 江下 毅
------------	-------------	-------------	-------------	-----------	----------

トヨタ車体クインシーズ



監督：多治見 麻子
コーチ：印東 玄弥

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

2	32	第1セット 【 00:31 】	30	3
	26	第2セット 【 00:27 】	24	
	15	第3セット 【 00:24 】	25	
	26	第4セット 【 00:33 】	28	
	13	第5セット 【 00:19 】	15	

ポイント 【】内はセット時間 ポイント
- ()内は交代選手 -

岡山シーガルズ



監督：河本 昭義
コーチ：吉田 啓佑

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

決勝トーナメントという事でこの一戦にチーム全員が集中し戦い、第1、2セットは勝つことが出来たが、あと一点が取る事が出来なかった。

しかし、選手は最後まであきらめず戦ってくれたと思う。この大会で長い間チームを支えてくれた竹田選手と平松選手が引退するが、彼女たちが残してくれたものを次のシーズンでは生かし、クインシーズらしく戦っていきたいと思う。

連日、熱い応援、本当にありがとうございました。

<監督コメント>

前半の粘りの中で前日のいい時間とのズレがあった。その部分を修正しながらの試合運びとなったが、中でも上背のない新人の西村選手が、チームに刺激を与えながらよく持続したと思う。

最後のまとまりはいいものがあった。

明日は今日の反省を生かし、大応援団の期待に応えられる試合にしていきたい。

本日は、大変多くのご声援、ありがとうございました。

明日もよろしくお願ひします。

32	中屋 夏澄 ()	荒木 絵里香 ()	第1セット	金田 修佳 (渡邊 真恵)	宮下 遥 (宇賀神 みずき)	30
	小田 桃香 ()	村永 奈央 (竹田 沙希)	第1セット	川島 亜依美 ()	大楠 鼓雪 ()	
	杉 郁香 ()	比金 桃子 ()	第1セット	西村 弥菜美 ()	佐々木 萌 ()	

リベロ： 榎原 美沙都 佐藤 滯 リベロ： 榎崎 慈恵 森田 夕貴

26	杉 郁香 ()	小田 桃香 ()	第2セット	大楠 鼓雪 ()	金田 修佳 ()	24
	比金 桃子 ()	中屋 夏澄 ()	第2セット	西村 弥菜美 ()	宮下 遥 ()	
	村永 奈央 ()	荒木 絵里香 ()	第2セット	佐々木 萌 (吉岡 美晴)	川島 亜依美 (居村 杏奈)	

リベロ： 榎原 美沙都 佐藤 滯 リベロ： 榎崎 慈恵 森田 夕貴

15	中屋 夏澄 (金本 望)	荒木 絵里香 ()	第3セット	佐々木 萌 (吉田 みなみ)	宮下 遥 (磯部 光里)	25
	小田 桃香 (藪田 美穂子)	村永 奈央 ()	第3セット	居村 杏奈 ()	大楠 鼓雪 ()	
	杉 郁香 ()	比金 桃子 ()	第3セット	吉岡 美晴 (宇賀神 みずき)	西村 弥菜美 ()	

リベロ： 榎原 美沙都 佐藤 滯 リベロ： 榎崎 慈恵

26	杉 郁香 (平松 美有紀)	小田 桃香 (竹田 沙希)	第4セット	大楠 鼓雪 ()	佐々木 萌 ()	28
	比金 桃子 ()	中屋 夏澄 ()	第4セット	吉岡 美晴 (宇賀神 みずき)	宮下 遥 (磯部 光里)	
	村永 奈央 ()	荒木 絵里香 ()	第4セット	西村 弥菜美 (金田 修佳)	居村 杏奈 ()	

リベロ： 榎原 美沙都 リベロ： 榎崎 慈恵

13	竹田 沙希 ()	中屋 夏澄 ()	第5セット	大楠 鼓雪 ()	佐々木 萌 ()	15
	杉 郁香 (平松 美有紀)	荒木 絵里香 ()	第5セット	吉岡 美晴 ()	宮下 遥 ()	
	比金 桃子 ()	村永 奈央 ()	第5セット	西村 弥菜美 (金田 修佳)	居村 杏奈 ()	

リベロ： 榎原 美沙都 リベロ： 榎崎 慈恵

<要約レポート>

第1セット、岡山シーガルズは佐々木、金田の攻撃で得点を重ね、中盤まで主導権を握りリードするが、トヨタ車体クインシーズは比金のサービスエースで勢いに乗り、荒木、中屋が要所でスパイクを決めこのセットの競り合いを制した。

第2セット、岡山はセットを奪回すべく、大楠、金田のスパイクで得点するが、終盤、トヨタ車体は、セッター比金の絶妙なトスワークでブロッカーを翻弄し、荒木、小田のスパイクが要所で決まりセットを連取した。

第3セット、後の無くなった岡山は、リベロ榎崎が体を張ったナイスレシーブを連発すると、チームも勢いに乗り、全員バレーでトヨタ車体を寄せつけず、セットを取った。

第4セット、トヨタ車体は比金が、岡山は宮下が、意地とプライドを掛けお互いの攻撃陣を操り、シーソーゲームを展開するが、コート狭しとボールを追いかけ、繋ぎ、ボールを落とさなかった岡山が競り勝ち、振り出しに戻した。

最終セット、お互い一歩も譲らない試合展開に両チームの応援にも力が入り、白熱した試合は盛り上がりを見せる。トヨタ車体は荒木のサービスエースやスパイクで得点を重ねるが、全員で拾い繋ぐ岡山は、途中出場の吉岡、居村へボールを繋ぎ得点を重ね、最後は西村がスパイクを決め、準決勝へ駒を進めた。

作成者： 作田 和美